

2026 年 7 月 16 日

報道機関 各位

島原地域で初開催 救急救命士を対象とした 「病院前 12 誘導心電図判読講習会」

長崎大学病院 高度救命救急センターでは、長崎県内だけでなく九州北部の救急隊を対象に「病院前 12 誘導心電図判読講習会」を開催しています。9 回目となる今回は、島原地域で初の開催となります。

長崎県では急性心筋梗塞、不安定狭心症などの急性冠症候群（ACS）患者の予後改善が課題となっており、発症から血流再開までの時間が ACS 患者の予後に影響するとされています。また近年問題となっている救急患者の受入れ困難事例においても、救急隊による適正搬送は喫緊の課題です。

そこで血流再開までの時間短縮および胸痛を訴える患者の適正搬送を目指すため病院前救護に携わる救急救命士（救急隊員）を対象とした講習会を行っています。

参加者には事前に e-learning 講習を受講いただき、講習会ではプレテストや討論を通じて事前学習の理解度を確認した後に、訓練用人形を使用したシミュレーション形式の実習を行います。実習では各想定にそった患者の「病歴、身体所見、12 誘導心電図所見を総合的に判断し、どの病院に連絡するか」一連の流れを行い、すぐに現場活動で役立つ内容となっています。

【第 9 回 病院前 12 誘導心電図判読講習会概要】

日時：2026 年 7 月 19 日（日）11：00～17：05

会場：泉川病院 2 階リハビリ室（南島原市深江町丁 2405）

対象：救急救命士ほか病院前救急医療に従事する方

主な内容：プレテスト、討論、実習 など



【高度救命救急センター 看護師 横山 誠からのコメント】

患者さんと最初に接触する救急救命士は、病院に到着する前に命を左右する判断が求められます。特に、急性心筋梗塞など重篤な胸痛患者さんへの対応においては「12 誘導心電図」という心電図検査を早期に実施・判読することが不可欠です。本講習会をより多くの救急救命士に受講いただき、胸痛患者さんを適切な医療機関へ迅速に救急搬送できるシステムを構築していきたいと考えています。

【注意事項】

・取材を希望する報道機関は 7 月 17 日（金）17 時までに、下記お問い合わせ先宛に「社名・氏名・連絡先・来場予定人数、来場予定時刻」をお知らせください。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学病院総務課（広報・評価・国際）

TEL:095-819-7790 MAIL : mhweb@ml.nagasaki-u.ac.jp

【関連情報】



▶長崎大学病院 高度救命救急センター

<https://www.mh.nagasaki-u.ac.jp/emc/>



▶長崎大学 クラウドファンディング プロジェクト

「心電図の波形に映る、命のシグナル。見逃さない力を全国の救急現場に。」

https://readyfor.jp/projects/nagasaki_acs

※本講習会は、本プロジェクトの支援金を活用して開催します。

第9回 病院前12誘導心電図判読講習会 時間表

期日：令和8年7月19日(日)

場所：泉川病院 2階 リハビリ室

時 間			教室	講義タイトル	
7月19日(日)					
11:00	-	11:40	0:40	リハビリ室	ガイダンス/プレテスト/開講式
11:40	-	11:45	0:05	休憩	
11:45	-	13:05	1:20	リハビリ室	e-learning まとめ・机上シミュレーション
13:05	-	13:50	0:45	お昼休憩	
13:50	-	14:00	0:10	リハビリ室	実習前ガイダンス
14:00	-	14:05	0:05	移 動	
14:05	-	16:15	2:10	リハビリ室	実習 Case Scenario 30分×4ブース
16:15	-	16:20	0:05	移 動	
16:20	-	17:05	0:45	リハビリ室	ポストテスト/アンケート/閉講式

(注) 時間表は随時見直されていますので、若干の変更があることをお含みおき下さい。

講義及び実習は予定より延びることがありますので、ご承知おき下さい。

事前のe-learning(約25分×6コマ)視聴を前提として講習がスタートしますので、当日までにご視聴ください。